

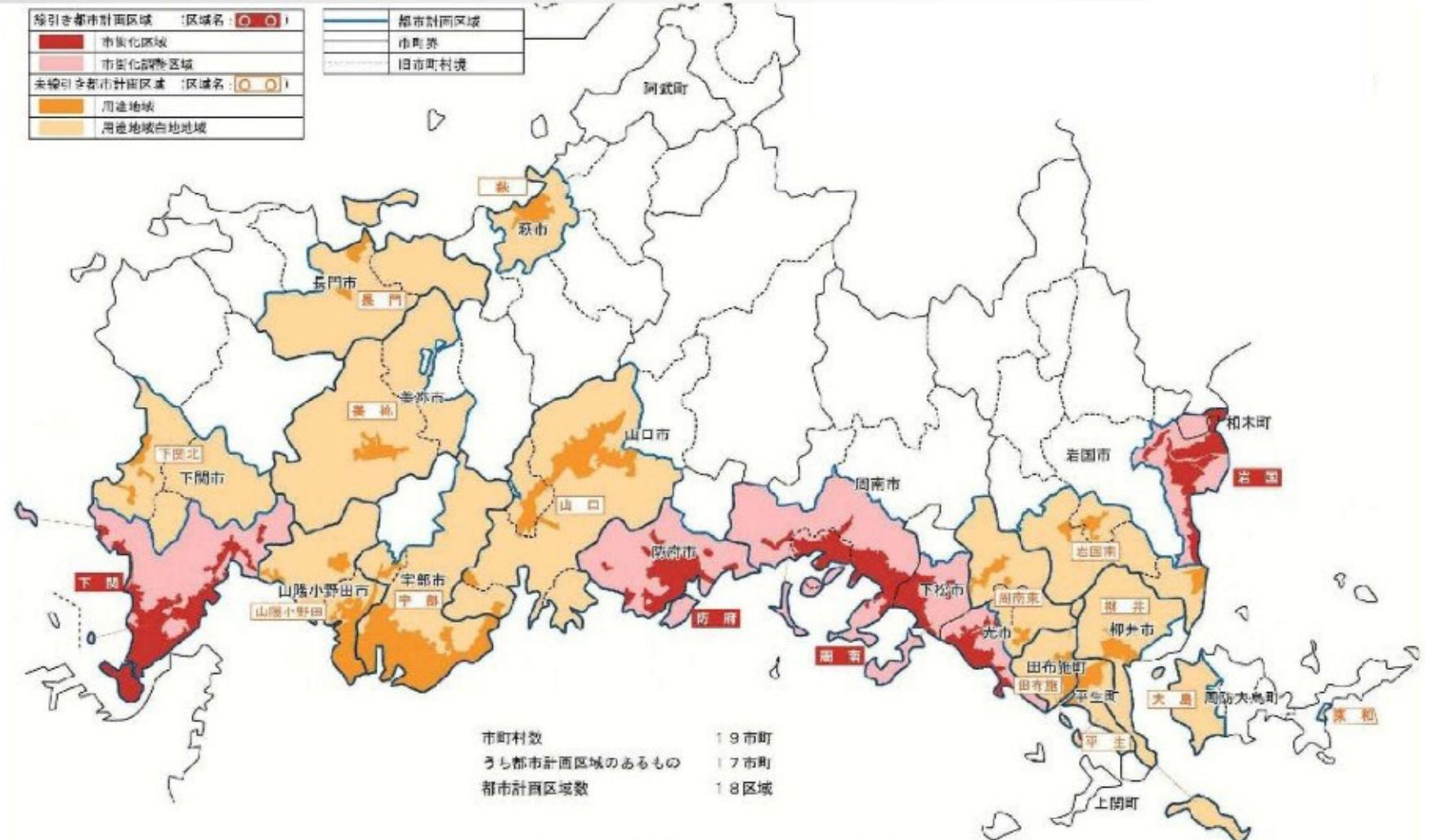
光市の都市づくりについて



都市計画区域

光市都市再生推進協議会
第1回会議 議題（2）

▼ 県内の都市計画区域の指定状況



山口県都市計画基本方針

(H27.10)

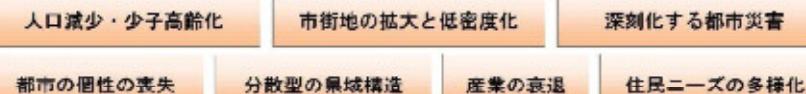
光市都市再生推進協議会
第1回会議 議題(2)

【山口県の現状】

山口県の特性	県内の各都市の状況	山口県の都市計画の現状
◆分散型の県域構造	◆広域化する都市間交流	◆18都市計画区域（県人口の約91%）
◆大都市圏に挟まれた県域	◆商業販売額の減少	◆4区域で区域区分（線引き）を指定
◆減少が続く県人口	◆空き家の増加	◆道路、下水道の整備率が低水準
◆全県や他県を上回る高齢化の進行		



【都市計画の課題】



【都市計画の目標】

暮らしやすいまちづくり

本県では、「都市型社会」における都市問題を直視し、質的な充実を図りながら、都市の個性が活力を生み、都市間の交流・連携が相互の不足を補う、成熟した都市型社会の構築を目指すことにより、「暮らしやすいまちづくり」を推進します。

都市の個性による活力の育成

都市間の連携による活力の展開

暮らしやすいまちづくり
【成熟した都市型社会の構築】

都市づくりの基本理念

「暮らしやすいまちづくり」を進めていくため、4つの基本理念を定め、総合的かつ計画的な都市づくりを進めます。

豊かな郷土資源を未来に
引き継ぐ、個性あふれる
美しい都市づくり

ゆとりとにぎわいの
都市生活を提供する
安心・安全な
集約型の都市づくり

都市ごとの個性を活かし、
連携して活力を生む
ネットワークづくり

住民と行政が協働し、
共創する身近な都市づくり

山口県都市計画基本方針（概要版）抜粋



山口県都市計画基本方針

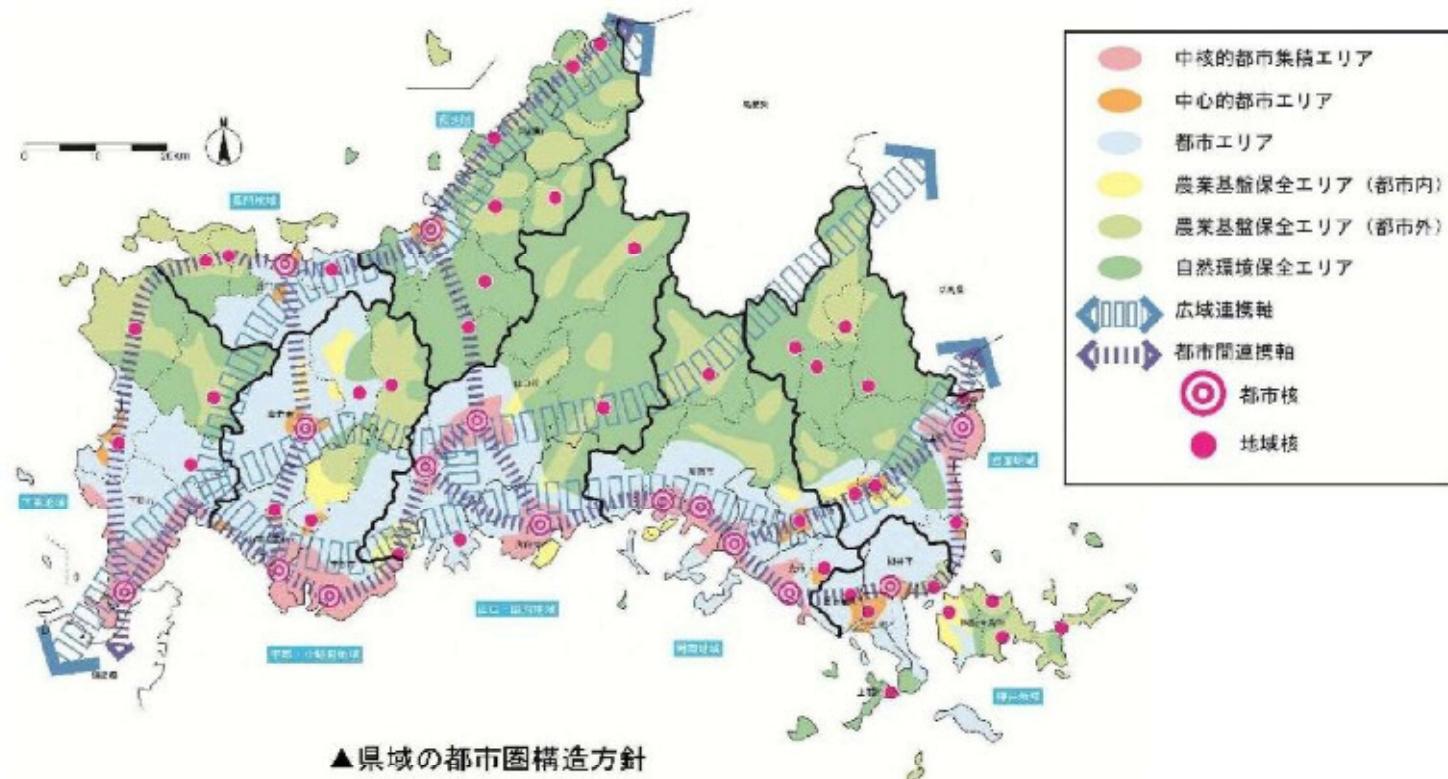
(H27.10)

光市都市再生推進協議会
第1回会議 議題（2）

【山口県の都市計画方針】

県域の都市圏構造方針

中規模な都市が分散している県内の都市の状況や都市づくりの基本理念を踏まえ、県内8つの広域都市圏毎に、都市の個性を引き出す美しい都市づくり、都市の活力を持続する機能が集約した都市づくりを進めながら、都市圏間の交流・連携を促進するための都市ネットワークづくりを進めます。



山口県都市計画基本方針（概要版）抜粋



光市 建設部 都市政策課

Hikari-City L.G. City Policy Sec.

3

山口県都市計画基本方針

(H27.10)

光市都市再生推進協議会
第1回会議 議題(2)

【山口県の都市計画方針】

都市の構造方針

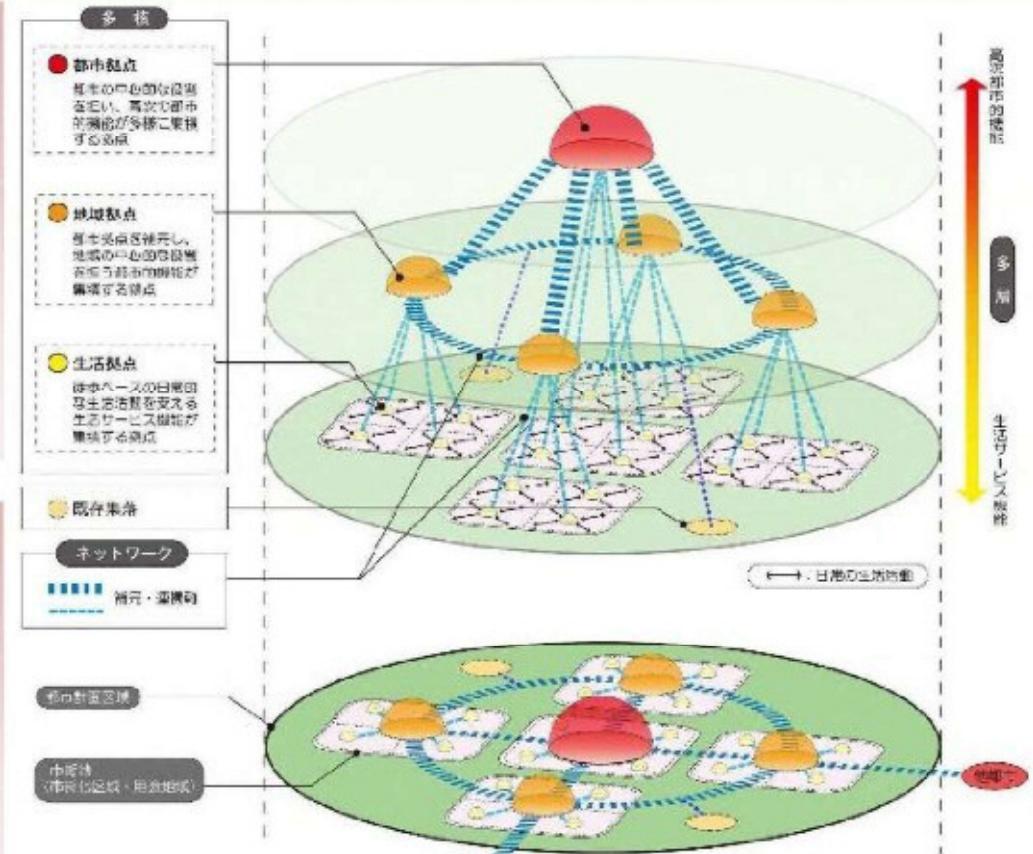
■集約型都市づくりの方向性

一多核多層ネットワーク型 コンパクトシティ

「都市」、「地域」、「生活」の3つの拠点（多核）に、都市機能を階層的（多層）に配置し、それぞれの拠点が機能を補完・連携（ネットワーク）しながら、活力ある集約型都市づくりを目指します。

■集約型都市づくりを支える 交流・連携ネットワーク

都市間・地域間の連携の強化を進めることにより、都市機能を相互に補完し、効率的な都市サービスを提供するとともに、地域間の様々な交流を促進し、県域全体のにぎわいと活力を創出します。



▲多核多層ネットワーク型コンパクトシティの都市構造イメージ

山口県都市計画基本方針（概要版）抜粋

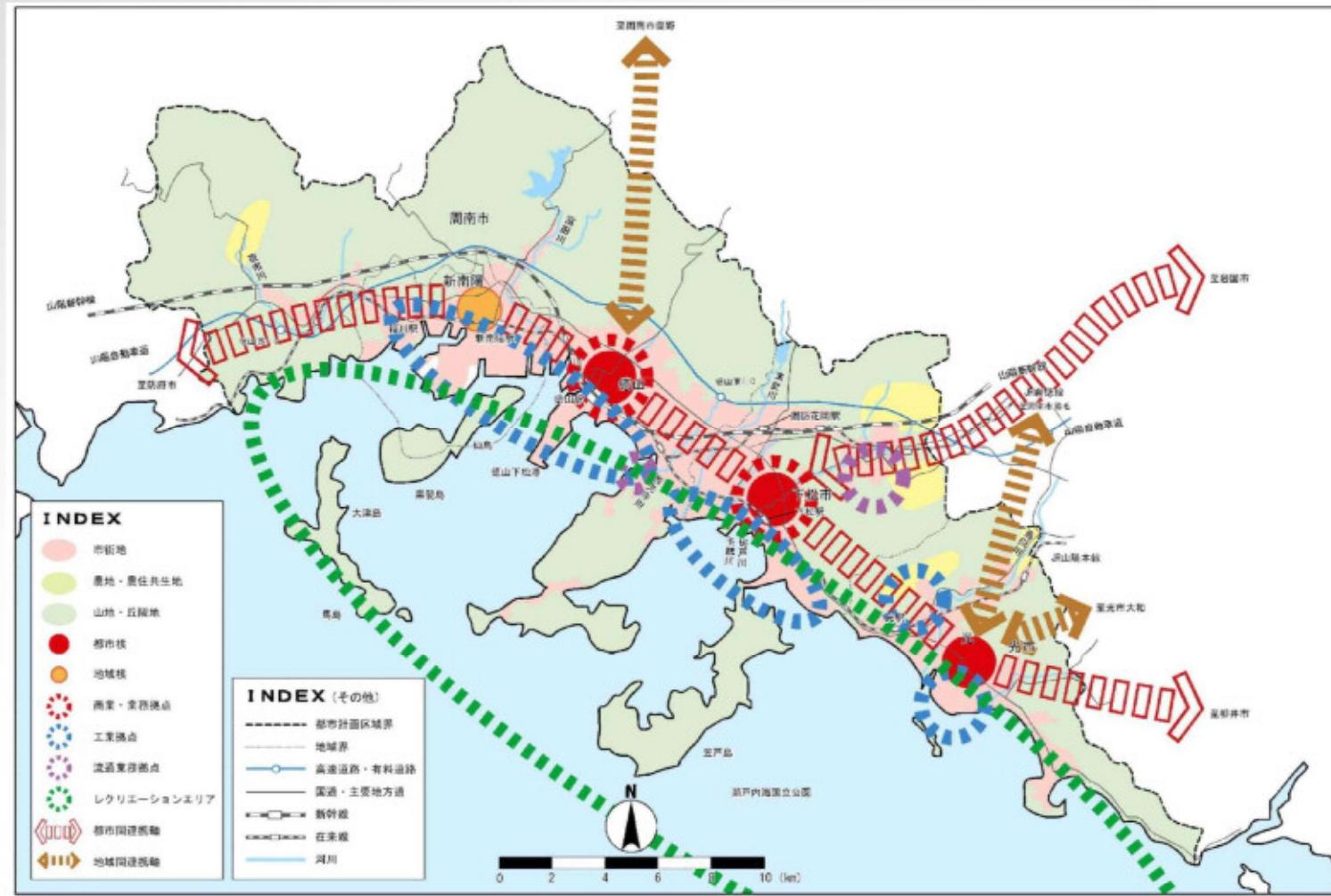


区域マスタープラン

(H24.3)

光市都市再生推進協議会
第1回会議 議題(2)

▼ 周南都市計画区域 将来都市構造



周南都市計画区域マスタープラン 抜粋

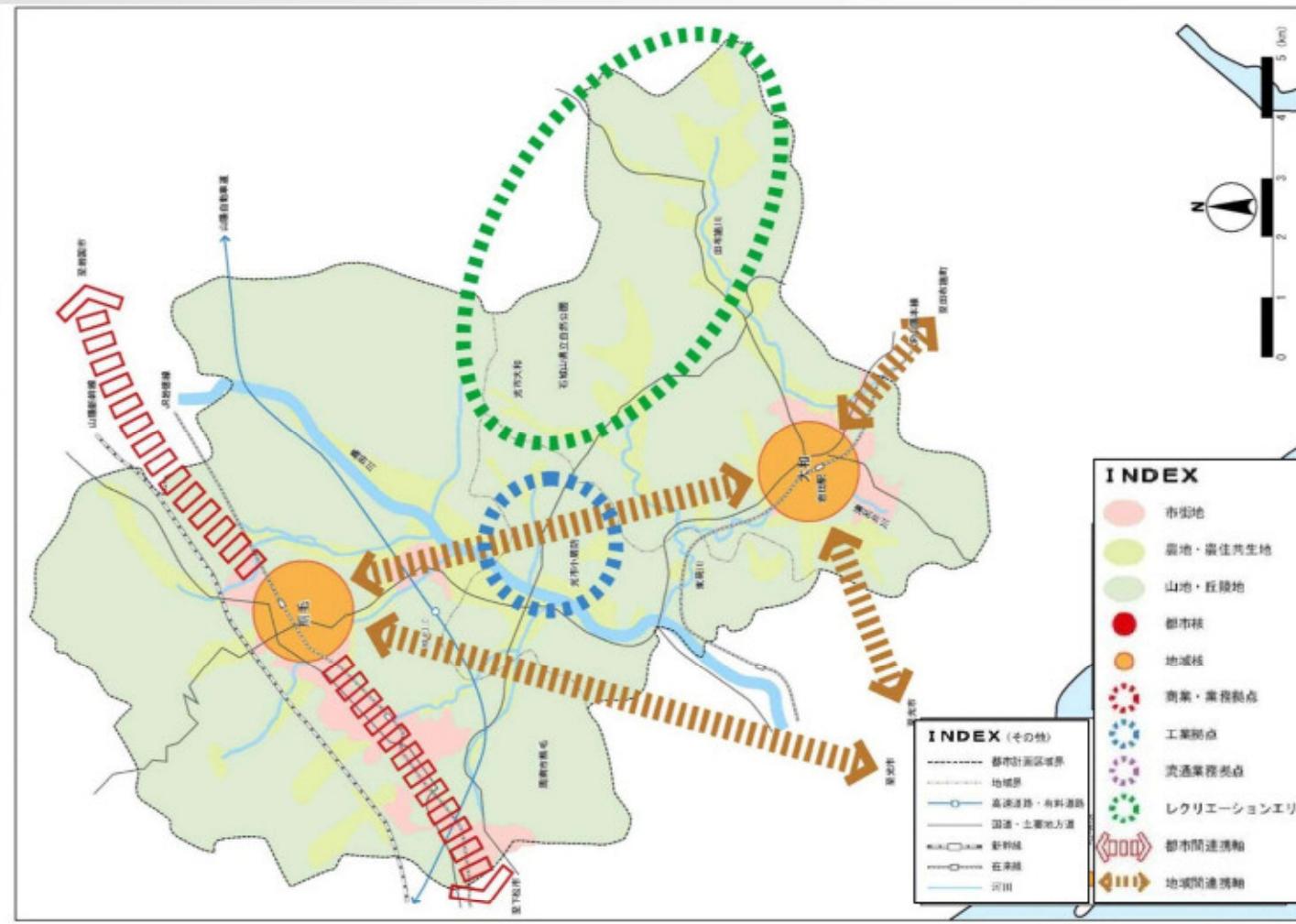


区域マスタープラン

(H24.3)

光市都市再生推進協議会
第1回会議 議題(2)

▼ 周南東都市計画区域 将来都市構造



周南東都市計画区域マスタープラン 抜粋

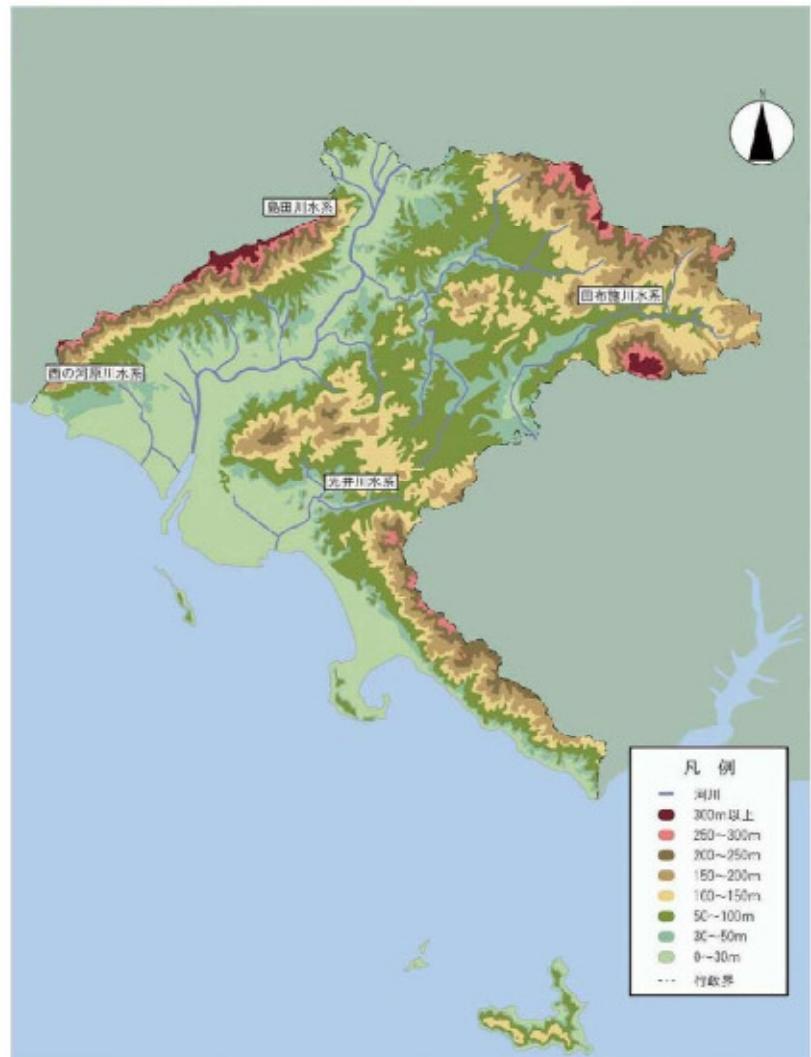


光市都市計画マスタープラン

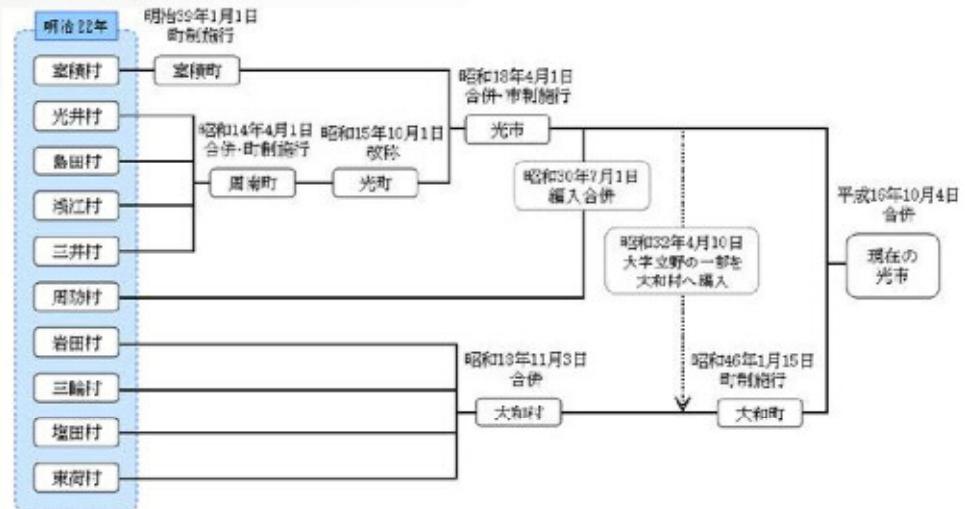
光市都市再生推進協議会
第1回会議 議題（2）

(H24.3)

▼ 光市の地勢



▼ 光市の変遷



日常生活圏が地域ごとに分散

分散型都市構造



光市都市計画マスタープラン

光市都市再生推進協議会
第1回会議 議題（2）

▼ 都市の特性

- ① 穏やかな気候に恵まれた都市
- ② 室積・虹ヶ浜海岸に代表される良好な自然景観
- ③ 地域ごとに日常生活圏を形成している分散型都市構造
- ④ 3つの鉄道駅による広域アクセス
- ⑤ 可能性を秘めた観光資源
- ⑥ 2大企業を中心とした臨海部の工業地帯

(H24.3)

▼ 主要課題

【市民生活に関する課題】

- ① 日常生活圏での生活機能の集積と連携
- ② 安全・安心の都市づくりに向けた防災対策

【土地利用に関する課題】

- ① 市町合併による異なる都市計画区域の存在
- ② 産業と住環境の共生
- ③ 地域コミュニティの維持

【都市基盤・施設整備に関する課題】

- ① 幹線道路網の整備
- ② 密集市街地等の住環境の整備
- ③ 公共交通ネットワークの拡充
- ④ 公園や緑地などのオープンスペースの確保
- ⑤ ユニバーサルデザインの考え方の導入



光市都市計画マスタープラン

光市都市再生推進協議会
第1回会議 議題（2）

(H24.3)

▼ 都市づくりの基本的な視点

- ・ 安心して住まい、しあわせを感じるまち
- ・ 生き生きと働き、活気に満ちるまち
- ・ 心身ともに憩い、輝く未来につながるまち

▼ 将来都市像

人の活力と豊かな自然が調和した
多核連携によるコンパクトな都市

▼ 都市づくりの目標

- | | |
|---------------|---------------|
| ● 地域集約型都市づくり | ● 環境共生型都市づくり |
| ● 活力創出の都市づくり | ● 安全・安心の都市づくり |
| ● 良好な景観の都市づくり | |



光市都市計画マスタープラン

光市都市再生推進協議会
第1回会議 議題（2）

(H24.3)

▼ 将来都市構造図



人の活力と豊かな自然が調和した

多核連携によるコンパクトな都市

地域の拠点ごとに
ふさわしい機能の集約



拠点と拠点とを
公共交通網などで結ぶ



「地域集約型都市構造」

	都市拠点地区		生活・交流拠点地区	
	広域連携軸		地域連携軸	
	森の環境軸		水辺の環境軸	
	田園（多自然型居住ゾーン）		森林・丘陵ゾーン	
	住居ゾーン		商業・業務ゾーン	
				工業ゾーン
			市街化区域・用途地域	
			自然環境保全ゾーン	



● 光・未来創生プロジェクト ～現在と未来をつなぐレインボープロジェクト～



特に重点的かつ戦略的に取り組むべき政策

7 ゆきかう光！JR光駅の橋上化と交通ネットワーク強化プロジェクト

【取組みの方向性】

人口減少社会下において、誰もが安心できる健康で快適な生活環境を維持し、持続可能な都市を実現するためには「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考え方を踏まえた都市構造の転換が求められます。

その拠点となるJR光駅のより一層の機能の向上や交通環境の高度化を進めるため、光駅の橋上化と駅周辺の開発に取り組むとともに、光駅を含めた市内全域の公共交通ネットワークの構築や幹線道路の整備に取り組みます。